

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 広陵高等学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒731-3164
広島市安佐南区伴東 3-14-1
 E-mail : contact@koryo.ac.jp
 Website : www.koryo.ac.jp
 児童生徒数：男子 879名 女子 431名 合計 1310名
 児童・生徒の年齢 16歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校は2014年10月にユネスコスクールに承認され、今までの取り組みを踏まえながら、新たな取り組みを行っていきたいと考えています。今回は今までの交流の経緯を紹介しながら、今年度の取り組みを紹介します。

本校は2005年1月より、北マリアナ諸島テニアン島にあるテニアン中高等学校と姉妹校提携を結び、相互訪問を行いながらお互いの文化・歴史、そして平和交流の取り組みを行ってきました。テニアン島は1945年8月にエノラゲイやボックスカーが飛び立ち、広島や長崎に原子爆弾を投下した米軍の基地となっていました。この交流は、原爆の悲惨さを二度と繰り返さないように、今の若者たちが「平和とは何か」を考えるような交流を願って始めたものです。

毎年広島とテニアンで両校の生徒たちが等身大の交流を行うことで、今ある平和の尊さを感じ取れる交流を行っています。今年度も相互交流が行われました。

テニアン中高等学校来校

4月17日(木) テニアン中高等学校来校
ホームステイ先の生徒と対面、交流開始

4月18日(金) 全校生徒による歓迎式典・授業交流
1校時 歓迎式典 文化交流
2校時 授業交流
3校時 授業交流
4校時 グループエンカウンター(交流生徒との活動)
5校時 学校見学
放課後 クラブ体験

4月19日(土) 平和学習
原爆ドームでのダイ・イン
平和公園・平和記念資料館訪問

4月20日(日) 宮島訪問
世界遺産訪問・文化体験

4月21日(月) 学校交流
今回の交流の振り返りと今後の展開の確認

イングリッシュキャンプ

7月28日(月)～29日(火)

テニアン中高等学校を訪問する生徒を中心に、英語での生活を実体験することで異文化体験を行った。また、テニアン中高等学校の生徒たちとスカイプを利用して、面談を行った。

サマープログラム(テニアン島での交流)

8月3日(日)～10日(日)

- 8月3日（日）
サイパン島に移動
- 8月4日（月）
テニアン島に移動、テニアン中高校の生徒と対面
- 8月5日（火）
テニアン島での平和学習
午前：北部 日本人居留地跡・原爆搭載地・戦跡訪問
午後：南部 慰霊碑訪問・文化交流
- 8月6日（水）
午前 平和活動（現地で黙祷など）
午後 異文化交流（文化体験）
平和学習（若者による平和式典）
- 8月7日（木）
文化・自然体験
文化交流
- 8月8日（金）
テニアン中高等学校での異文化交流
- 8月9日（土）
フェアウェルパーティー
- 8月10日（日）
帰国

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（夏季休暇などで実施）